



身近な自然や生態系への影響1

実施内容

昆虫などの身近な生き物を通して、生き物が適応するための知恵や工夫などを知ってもらい、気候変動による生態系への影響について考えます。

POINT

- ・身近な自然や生態系への気候変動の影響について学びます。
- ・身近な生き物の知恵を学び、適応への気づきにつなげます。

留意点

・ナッジ(望ましい行動をとれるよう人を後押しする手法)など行動科学の知見を活用し、強制ではなく、自発的に取り組みが進むよう、自分たちの行動がより良い暮らしにつながることを想起させる工夫が有効。



平均所要時間	定員
2時間	40名程度
準備物	実施団体
セミナー備品一式	自治体



▲教えて!カマキリ先生
温暖化の影響と生きものの適応について

*ハンドブックP15もご覧ください

地球規模の生態系への影響

実施内容

地球規模での気候変動の影響について、北極のアザラシの生活を通して理解し、自然生態系への気候変動の影響について、ワークショップにより考えます。

POINT

流氷が減少した影響でアザラシが減るなど、地球規模の気候変動の生態系への影響について学び、適応や身近な行動の中で自分たちができることへの気づきにつなげます。

留意点

- ・地球規模の話と身近な生活とのスケールの差がありすぎて、実感が伴いづらいことから、身近な観点に引き寄せる工夫が必要。
- ・温室効果ガスの削減に向けた国際的な動向なども説明することで理解が深まる。



平均所要時間	定員
2時間	20名程度
準備物	実施団体
オンラインセミナー準備一式	自治体



▲地球規模での気候変動の影響のお話

*ハンドブックp2-3,4-6,9もご覧ください



身近な自然や生態系への影響2

実施内容

座学に加えてフィールドワークやクラフト制作を行い、屋外で大木や生き物に触れることを通して、身近な生き物が適応するための知恵や工夫などを知ってもらい、気候変動による生態系への影響について考えます。

POINT

- ・身近な自然や生態系への気候変動の影響について学びます。
- ・セミの羽化と抜け殻などのクラフトの制作を通じて気候変動の生態系への影響を知り、適応への気づきにつなげます。

留意点

- ・お話とフィールドワーク、クラフトを組み合わせることによって、理解が深まる。
- ・フィールドワークに適した季節がある。
- ・天候に左右されるため、中止時の連絡体制や対応などを決めておくことが望ましい。



平均所要時間	定員
2時間	40名程度
準備物	実施団体
セミナー備品一式、木や生き物がある公園、クラフトの材料	自治体



▲公園で大木や生きもの観察

*ハンドブックP15,22もご覧ください

森のセラピー

実施内容

森林の散策体験などを通して、森林を身近に感じるとともに、自然生態系への気候変動の影響ならびに森林保全の役割について考えます。

POINT

- ・自然生態系への気候変動の影響や、森林保全の重要性を知るセミナーに続き、森を身近に感じるセラピー体験を行います。
- ・自然に触れ、好きになる気持ちが地球温暖化の適応にもつながることを学びます。

留意点

- ・セミナーとフィールドワークを組み合わせることによって、理解が深まる。
- ・フィールドワークに適した季節がある。
- ・天候に左右されるため、中止時の連絡体制や対応などを決めておくことが望ましい。



平均所要時間	定員
2時間	20名程度
準備物	実施団体
森林セラピーのフィールド、指導者	自治体



▲森のセラピー

*ハンドブックP15もご覧ください





座って学ぶ



体験



多人数



少人数



子ども



おとな

生き物との共生と適応

実施内容

泉州地域の森・里・川・海の生き物や、地域の里山である神於山について知るとともに、ワークショップを通じて生き物との共生と適応について学びます。

POINT

- ・資料館で、気候変動の影響と「適応」について、展示を参考に説明を受けます。
- ・里山保全の取組みや森・里・川・海の循環系のお話をきき、泉州地域での生き物との「共生」と「適応」を考えます。

留意点

- ・平日昼間の開催の場合、参加者が限られることから、休日の開催なども検討すると良い。
- ・講師選定を工夫することで口コミでの参加増が期待できる。



平均所要時間	定員
3時間	20名程度
準備物	実施団体
セミナー備品一式、生き物について学べる資料館など	自治体



▲生き物との共生と適応のお話

*ハンドブックP13,15もご覧ください

コラム 動画による啓発

YouTubeチャンネル 温暖化「適応塾」

温暖化の影響やその適応について、府内の各地域での取り組みや啓発内容を動画で見ることができます。



「適応塾」中部編

気候変動の影響の一つ、いわゆる「ゲリラ豪雨」のメカニズムを、気象予報士がわかりやすくご紹介しします。「ゲリラ豪雨」や「落雷」の被害から身を守るために、「レーダーナウキャスト」※や「雨雲レーダー」※を活用しましょう。

※「レーダーナウキャスト」や「雨雲レーダー」でキーワード検索すると、すぐに見ることができます。スマホにアプリをダウンロードしてもいいですね。



「適応塾」泉州編

災害時の食事作りをご紹介します。鍋で沸かしたお湯だけで、ご飯を炊き、親子どんぶりの具を作り、ホットケーキミックスの蒸しパンまで、次々に調理していきます。普段の生活で使っているものが非常時にも大活躍。アウトドアでの気軽なクッキングにも応用できますね。



「適応塾」北摂編

環境活動を行うNPO法人の、気候変動への取組みをご紹介します。「緩和」と「適応」、どちらも大切な行動です。



「適応塾」中河内編

里山地域での、廃校を活用した活動拠点のご紹介です。森林保全や、水源保全、生態系の保全活動などは、適応に関する取組みです。

コラム 暮らしの中での「適応」3 災害に備えよう

非常用持ち出しバッグを準備しよう

非常時に持ち出すべきものをリュックサックに詰め、いつでもすぐに持ち出せるように準備しておきましょう。また、自宅でも1週間程度は生活できるように、飲料や食料、生活用品を備蓄しておきましょう。

スマートフォンなどのアプリが活用できます。
キーワード検索 ⇒ ニュース、天気、防災、
避難所ガイド、
食品管理アプリ^{※3}

※3 食品管理(賞味期限管理)アプリはローリングストックの管理に使えます。ローリングストックとは 普段の食品を少し多めに買い置きしておき、賞味期限を考えて古いものから消費し、消費した分を買い足すことで常に一定量の食品が家庭で備蓄されている状態を保つための方法です。



*ハンドブックP16,21もご覧ください